



加 納

特別  
15  
6673  
49  
早稲田大学図書館



安永四乙未ノ



青陽

係小かりしぬ事を  
おとほふふしとて

おとほふふしとて

心直やうの心直のわらうま

蒼舒房

庭より種をまきりて方外

杜涼

笑ふも岩石はちのぬきと来

洲波

各年賀

コトウチ務小暇あふハ考ふ  
けあしとてまう引く

竿目もり居るりむの春

杜涼

大指やまのり。顔先より梨

馬山

衾衾の白ひ秋。一季のれ

依波 和水

袖衣や地へ向ひてもまへ

尔川

ちと碎りて好くも月ち。一季此他

竹市

夢ふれ夢てりるり。かゝる文解

為竹

物束とてまう。くもくもやえの草

女 嘉知

史をよみ。くもくも。鏡餅

女 美代

そねもく。くもくも。くもくも

女 農布

かり海れの。くもくも。くもくも

露株

おもひの。くもくも。くもくも

為規

り〜〜とあ〜終〜交〜筆也 妻花  
 り〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 蘭宇  
 心〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 其由  
 其〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 正桐  
 理〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 洲波  
 午強志の月

古の地いへり市塵ふり  
 彦石川とやうはくえき

静さも際〜〜のち多代 其申  
 石の余波を付ひり柔は交 風夕  
 忘れしすれ〜〜ぬ〜ぬ〜ぬて 海草  
 島さふの襟た〜む形り 白川  
 夕月も白い本様ふ〜ぬあ〜ぬ 杜涼  
 阿のち代れあ〜ぬ〜ぬ〜ぬ 井市

月本の人もあ〜〜も彼〜〜も 三山  
 枕〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 露株  
 干捨の傘風ふ吹ま〜〜 西相  
 癖の〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 妻花  
 法代ふぬや花の朝〜〜十日 海波  
 柳の〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 若草  
 高ひ〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 和名  
 人〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 若木  
 遠子も〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 為親  
 小思藏小〜〜とあ〜い〜さ〜あ〜初物 柳草

古経歌り一巻

京味権力

